

沿革

明治 6年11月	向笠学校として新豊院に開校
明治 8年	向笠竹之内 68番地 定福寺を校舎として移転
明治17年 5月	向笠竹之内に校舎新築
明治18年 7月	友永小学校と合併 友永小学校分校改称
明治22年	令の改正により向笠尋常小学校と改称
明治38年 3月	向笠竹之内権現 351番地に移転
大正12年 4月	南校舎1棟 4教室 新築校舎竣工
昭和 8年 4月	新校舎1棟落成(後講堂に転用)
昭和16年 4月	向笠国民学校と改称
昭和18年 3月	校庭北西端の山を崩し校地を拡張
昭和19年12月	大地震により校舎傾斜 壁落下 井戸屋倒壊
昭和22年 4月	向笠立村立向笠小学校と改称
昭和27年 4月	2階4教室新築 旧校舎移転
昭和31年 4月	向笠村 磐田市に合併 現在校名
昭和31年 6月	に改称
昭和31年10月	校舎西端の山を崩し校地拡張 明治38年建築の校舎を講堂東側に移築し、幼稚園舎に移転
昭和32年 3月	2階建て校舎の西に連結して、2階6教室を増築
昭和33年10月	給食室を建築 完全給食実施
昭和39年 7月	プール及び付属設備竣工
昭和45年11月	歯科優良校(県学校保健会)受賞
昭和47年11月	文部省より学校給食優良校表彰
昭和48年11月	磐田市教育委員会の指定を受け、3校合同研究発表会を開催
昭和48年12月	体育館建設に伴い、講堂・西校舎・旧幼稚園舎を解体
昭和49年 3月	向笠小学校創立100周年行事を開催
昭和51年11月	特別活動自主研究発表会を開催
昭和57年 2月	消防クラブ県知事賞
昭和58年 3月	現校舎竣工
昭和61年 3月	運動場周辺植樹
昭和62年 3月	築山完成
昭和63年 8月	屋内運動場屋根・外壁改修工事完了
平成 元年 4月	校服自由化実施
平成 3年 6月	権現山に校訓「せいじつ」のツツジ文字植樹
平成 4年 5月	学校環境緑化コンクール入選
平成 4年10月	磐田市教育委員会指定研究発表会
平成 6年 1月	健康優良推進学校(中規模の部)
平成 9年 8月	パソコン2台設置
平成 9年10月	平成トンボの池完成
平成10年 1月	健康教育推進校優良賞受賞

本校の強みを生かした学校経営

①本校児童の強みを伸ばす

概して、子どもたちは「やってみたい」「挑戦したい」というまっすぐな思いをもって教育活動に取り組む。さらに「やろう」と決めたことは力を抜かず、ひたむきにやるべきことに向かうことができる。こういった子どもたちの良さを伸長すべく、**子どもたちの「やりたい」という気持ちを引き出し、その「やりたい」を実現させるための方法も子どもたち自身で考えるような子ども主体の教育活動を展開していきたい。**

②小規模を強みにした学校経営

本校の児童数は、今後も140名から150名程度を推移すると思われ、市内でも小規模校の部類に含まれる。この小規模であるという環境は、いろいろな学年の子と仲良くなる機会がほかの学校に比べて多いことから、このことを本校の持つ強みととらえ学校経営を展開していく。様々な異学年交流の機会を通して、低学年は高学年をロールモデルとしてあこがれを抱きながら成長し、高学年は低学年から認められ自己肯定感を高めるとともに、思いやりを学ぶ機会にしたい。具体的には、異学年の子ども同士が一緒に遊ぶだけでなく、低学年の子どもが自然に高学年の子どもに相談する姿を期待したい。

③地域とのつながりを強みに

地域の作物を育て、それを加工して食べる「食農学習」は、地域の方々の支援を受け、向笠ならではの特色ある活動となっている。さらに、向笠小の学区は広く、土砂災害警戒区域に指定されている箇所や交通安全上の課題を抱える箇所もある。しかし、地域の見守りボランティアの方々が、積極的に活動してくれているという強みもある。一方、小中一貫教育の取組の中で、児童生徒の地域への関心度合は、小学校から中学校にかけて低下傾向にあることも指摘されている。については、子どもたちがさらに地域を意識し地域の方々にお世話されるばかりではなく**自分で地域のためにできることはいかを考え、地域のために貢献しようとする意識を育てたい。**

向笠の地には、新豊院山古墳墓群をはじめとする歴史を感じさせる様々な遺跡、桶ヶ谷沼や鶴ヶ池をはじめとする様々な自然、米やそばをはじめとする様々な農作物、何より本校には先達が整備したビオトープなど、他には類を見ない優れた教育素材が多く存在している。そこで、**子どもたち自身がふるさとである向笠の地を愛する心が持てるよう、向笠の自然や地理的条件を生かした教育活動を意図的に創造していく。**

グランドデザイン

静岡県:『有徳の人』の育成

磐田市:「ふるさとを愛し、未来をひらく、心豊かな磐田市民」

『校訓』

誠実

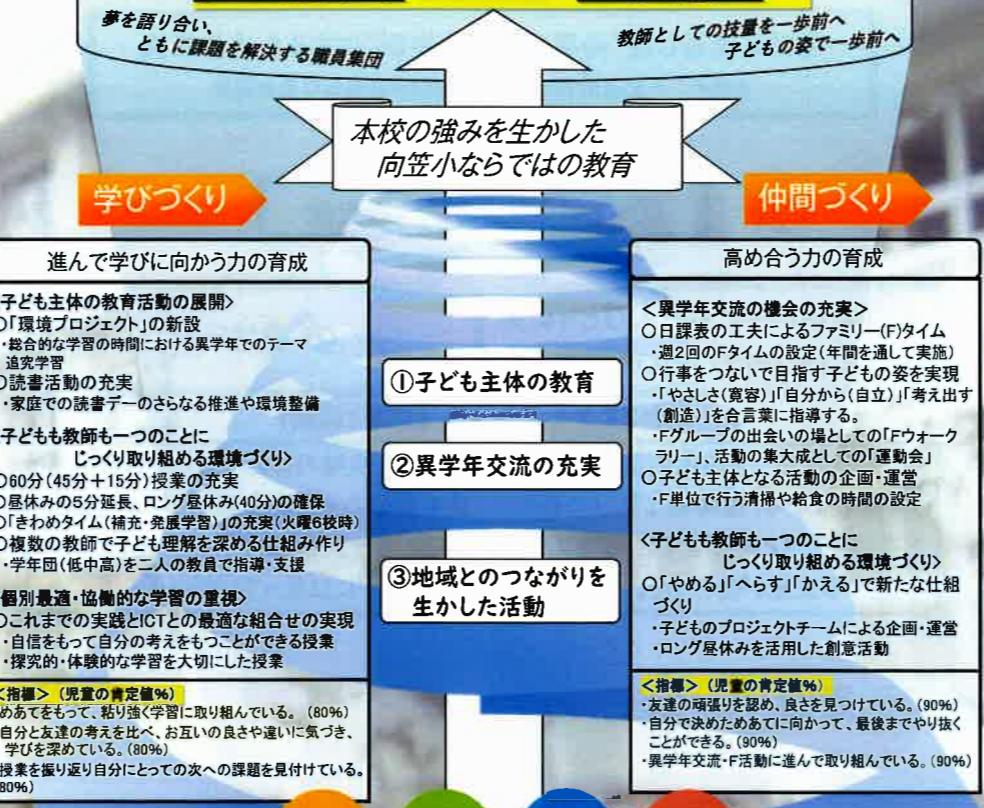
- ・眞面目でうそを言わない
- ・そのものに心を打ち込み没頭してやり抜く
- ・気力が充実し、言行が一致している

【向陽学府教育目標】

瞳を輝かせ、居がい・生きがいを感じる児童・生徒
～互いを認め合う力～
～自立～
～創造～

【学校経営目標】

夢を語ろう そして 一步前へ…



学校運営協議会 「向笠トンボの会」

すべての子どもの笑顔のために～向笠スピリッツ(職員心得)～

命を大切に

「チーム」として

- ・家庭との連携を密に図り、多面的・多角的な視点で子どもも理解に努める。
- ・他者とのかかわりやつながりを実感できる場を多く提供し、自己を適正に評価できるよう促す。
- ・子どもの命同様、勤務環境改善を通して教職員の命を大切にし、子どもに笑顔で接することができるようとする。
- ・教職員一人ひとりの個性と能力を發揮し、「すべての子ども」のために全力を尽くせる教職員集団であり続ける。
- ・医療や関係機関との連携、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用により、一人ひとりの子どもにとって最適な支援のあり方を常に追求する。

日課表

	月	火	水	木	金
					8:15までに準備
8:15 8:25					朝の会
8:45	8:30 E-time モジュール学習	F清掃	8:30 E-time モジュール学習		8:30 E-time モジュール学習
9:30					
9:40 10:25					
10:35 11:20					
11:30 12:15					
13:00					
13:25					
13:40					
13:45 14:30					
14:40 14:45 15:30					
15:00 15:30	委員会 ・クラブ ・きわめタイム		会議1		
16:00 16:00	会議/研推 教材研究等	16:00夕会 教材研究等	16:00	会議2	16:00 学年会 教材研究等

異学年交流 「ファミリーグループ活動」

向陽学府教育目標

瞳を輝かせ、居がい・生きがいを感じる児童・生徒

やさしさ (寛容)

<ファミリーありがとうの会>
<6年生を送る会> 3月7日(月)
ファミリーGの思い出を振り返り、互いに感謝の気持ちを表す。

<学習発表会:かがやきフェスタ> 2月19日(土)

学習したことを表現。
創造する力を発信する力を高める。
全年齢から有志を募り、プロジェクトチームをつけて会企画・運営する。

<なわ跳び記録会> 1月27日(木)
ペア学年で実施

<持久走記録会> 12月10日(金)

学年団(低・中・高)で実施

考え出す (創造)

<運動会> 10月23日(土)

学校やファミリーで一緒に活動することを通して、その中の自分の役割を自覚し、進んで楽曲のために自分の力を發揮したり、学校やファミリーの仲をさらに深めたりする。
全年齢から有志を募り、プロジェクトチームをつけて運動会企画・運営する。

自分から (自立)

<ファミリークリー 地域探検> 5月29日(土)

同じファミリーの子を知り、向笠の一員として互いを思いやり、助け合う。向笠地域の自然や歴史について知り、今後の学習に生かす。

<1年生を迎える会・ファミリー出会いの会> 4月30日(金)

1年生が向笠の仲間入りをするという意識をもつと共に、2~6年生が温かく1年生を迎えるとする。

<ファミリーグループ活動 他者とのかかわりやつながりを実感できる機会充実>

<ファミリー遊び・子ども同士の読み聞かせ・本を紹介し合う等>